

1. 分野指定助成の助成回数制限の見直し

現在

見直し案

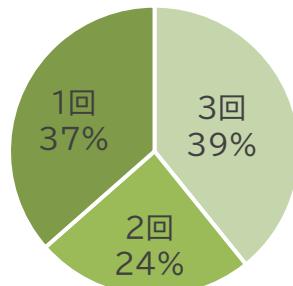
助成回数

同一団体・同一事業3回まで

- 助成団体を固定化させず、まちづくり活動のすそ野を広げる
- 団体に対して、新たな事業展開や、資金確保策の検討を促すなどし、団体の財政的な自立を促す。

- × 団体は「事業改善」より「別事業の企画」を意識してしまう。
- × 市民まちづくり活動は多種多様であり、同一事業であるかを画一的な基準で判断することは困難。団体は、申請事業が審査で同一事業と判断されるかどうか、交付決定となるまで確認できず、事業計画に支障が生じる可能性がある。
- × 審査には過去の事業と違いを確認する必要があり、審査の負担が大きい。

目的

R6年度交付決定団体
R4～R6助成回数

同一団体3回まで(原則)
※4回目以降は合格基準点を引き上げ

- 助成団体を固定化せず、まちづくり活動のすそ野を広げる。
- 助成回数の制限を明確にする。さらなる事業効果を促進するために、4回目以降も助成が受けられる仕組みとすることで、団体の成長、自立につなげていく。

R4～R6の期間中、3回交付決定している団体は約4割

・ 4段階評価

評価内容	認められない	やや認められる	認められる	大いに認められる
評点	1点	2点	3点	4点

・ 助成の種類により、審査基準・交付決定基準が異なる。

		スタートアップ助成	分野指定助成 テーマ指定助成	団体指定助成
審査基準	市民ニーズ適合性	○	○	○
	効果性	○	○	○
	実現可能性	○	○	○
	全体の整合性		○	○
	先取性・先駆性		○	
	発展性	○	○	
交付基準	審査項目数	4項目	6項目	4項目
	満点	80点	120点	80点
	基準点	48点以上	60点以上※ ※ 60～89点:助成枠、点差などを考慮して一部減額、または対象事業から除外することも可 ※ 90点以上:満額助成	40点以上

→ オール2なら交付決定

・ 5段階評価

評価内容	劣る	やや劣る	ふつう	やや優れている	優れている
評点	1点	2点	3点	4点	5点

- 審査基準を統一(全6項目)、スタート期から成長・安定・発展期まで同じ項目とし、助成の種類(団体のステージ)に合わせて審査を行う。
- 交付基準点を90点以上とし、よりよい事業に助成を行う。
分野指定助成(4回目以降)は120点以上とする。

		スタートアップ助成	分野指定助成 テーマ指定助成	団体指定助成
交付基準	審査項目数	6項目	6項目	6項目
	満点	150点	150点	150点
	基準点	90点以上 (4回目以降) 120点以上	90点以上 (4回目以降) 120点以上	90点以上

→ オール3なら交付決定 → オール4なら交付決定

- 審査結果(評点)を、不交付決定団体だけでなく、交付決定団体にも通知する。
団体に客観的な評価を伝えることで、成長を促す。

2. 令和7年度テーマ指定助成

- 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンの「まちづくりの重要概念」である「ウェルネス(健康)」「ユニバーサル(共生)」「スマート(快適・先端)」をテーマとしている。
- 令和6年度は「ウェルネス(健康)」をテーマとして設定、令和7年度は「ユニバーサル(共生)」をテーマとして設定する。

	ウェルネス (健康) R6	ユニバーサル (共生) R7	スマート (快適・先端)
概要	誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会の実現	誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会の実現	誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できる社会の実現
事業例	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングイベント 生活習慣病に関するセミナー 若年層の食生活改善にむけたレシピ作り 高齢者の生きがいづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 心のバリアフリーの浸透のための各種啓発事業 年齢、性別、国籍、障がいの有無等に応じたサービスやバリアフリー情報の発信 多様性を尊重した学びの機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルを活用した誰もが受講しやすい講座の開催 効果的にデータを活用した利用者にとって分かりやすい情報発信

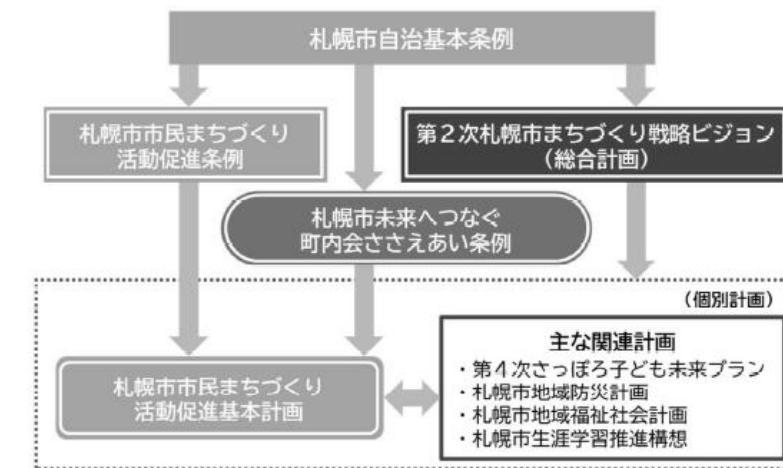
令和6年度 「ウェルネス」	助成数/申請件数 8件/18件

事業報告

団体名	事業名	交付決定額
特定非営利活動法人 北海道心不全医療連携アカデミー	全世代を対象とした心不全発症予防に関する啓発活動を通じた健康寿命延伸事業	2,000,000円
八百力フェ実行委員会	コミュニティマルシェ 八百力フェ	1,800,000円
NPOボラギャング	食を通した健康づくりと孤立・孤独を抱えるすべての世帯が繋がるコミュニティ事業	1,600,000円
特定非営利活動法人 勇者の会	笑顔から始まる いのちの大切さ	1,500,000円
特定非営利活動法人 ねっこぼっこといえ	多世代多様な人々が集うことで孤立・孤独を回避し、安心した関係性を紡ぎ直し、より心身の健康を獲得できるようなポストコロナにふさわしい居場所を蘇生する事業	1,500,000円
特定非営利活動法人 札幌歩こう会	ウォーキングイベント	1,000,000円
特定非営利活動法人 雪氷環境プロジェクト	生きがいと健康を育みながらつながるコミュニティ「さっぽろうたごえプロジェクト」	500,000円
特定非営利活動法人 たすけ愛ふくろう清田	心と体の健康回復を、地域総合力でお手伝いする事業	500,000円
計		10,400,000円

- 広く市民・団体にテーマ指定助成制度や事業効果を周知するため、事業内容等について札幌市公式HPに掲載予定。
- スタートアップ助成や分野指定助成を受ける、スタート期・成長期にある団体に、発展的なまちづくり活動について知つてもらい、今後の事業構築等に生かしてもらう。

(参考)札幌市市民まちづくり活動促進基本計画と
札幌市自治基本条例、他の計画等との関係



「札幌市まちづくり戦略ビジョン」とは、札幌市を取り巻く社会経済情勢の大きな変化に対応するための新たなまちづくりの指針であり、札幌市のまちづくりの計画体系では最上位に位置付けられる「総合計画」。目指すべきまちの姿を描いた<ビジョン編>と、主に行政が優先的・集中的に実施することを記載した<戦略編>で構成している。

令和7年度「ユニバーサル」

- 令和6年度のテーマ指定助成の応募状況等を勘案し、令和7年度は「ユニバーサル(共生)」の1テーマとする。
- 札幌市では、共生社会の実現に向けた基本理念を皆で作り上げ、市民・事業者・行政が一体となって取組を進めていくこと等を目的として、条例の制定に向けた検討を行うなど、共生社会の実現に向けた取組を進めている。

テーマ指定助成の今後について

- 令和8年度以降のテーマについては、令和7年度までのテーマ指定助成の実施状況等を踏まえて検討する。